



かがやけ！ビーミーっ子 後期号

令和2年2月28日発行

令和元年度 ゆりのき台小学校 学校評価アンケート結果報告

学校・家庭・地域が連携して育てる「やさしく・かしこく・たくましい」ビーミーっ子



ゆりのき台小学校では、今年度も学校教育目標である「やさしく・かしこく・たくましく」の目標達成に向けて、学校全体で様々な取組を推進してまいりました。7月の前期学校評価アンケートに続き、1月に本年度2回目の後期学校評価アンケート(保護者・児童・教職員)を実施し、その集計結果を1月の第4回学校地域運営協議会で報告しました。協議会の委員の皆さんからは、「学校評価アンケートを通して、子どもの実態を把握し、成果と課題を学校・家庭・地域が共有するとともに、連携して子どもたちを育てていくことが大切である。」などのご意見をいただきました。協議会で出されたご意見を参考にして、これからもよりよいビーミーっ子の育成に向けて取り組んでまいります。今後も保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

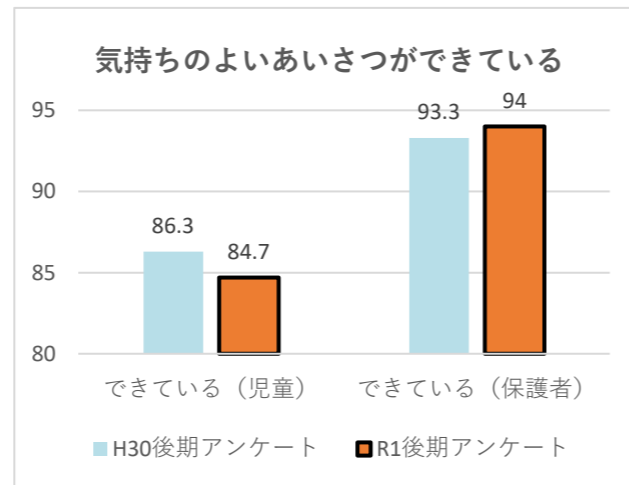
設問1. 「気持ちのよいあいさつができています」

「気持ちのよいあいさつができています」については、児童の84.7%、保護者の94.0%が肯定的な意見を述べられていました。しかし、児童が「気持ちのよいあいさつができています」と答えた割合が昨年度より1.6ポイント減っており、今後もさらなる啓発が必要であると考えられます。



【朝の校門付近の様子】

学校でも、生活目標にあいさつを位置付け、学年や各クラスに応じた取組を行ってきました。また、教職員が交代で校門に立ち、あいさつをして子どもたちを迎えています。学校、家庭、地域がひとつになって、これからも引き続き、気持ちのよいあいさつを行い、あいさつを通してみんながつながり合えることを大切にしていきます。

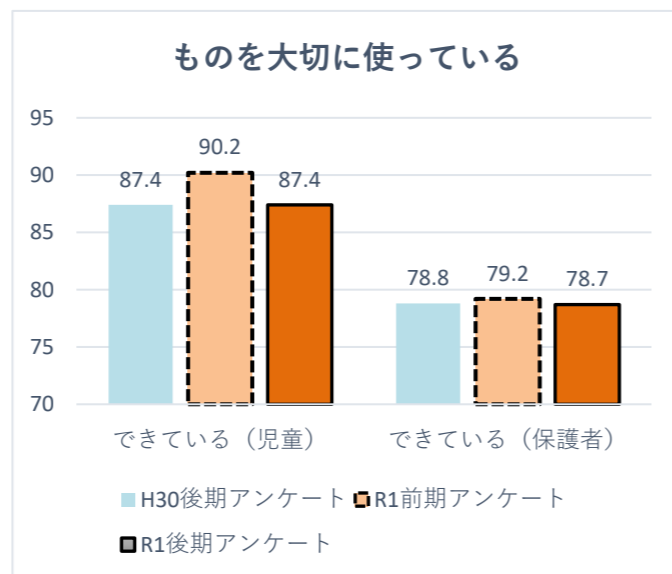


設問4. 「ものを大切に使っている」

昨年度から少し心配しているのが「ものを大切に使っている」というアンケート結果です。

右のグラフから分かるように、児童、保護者アンケート結果とも、前期から後期にかけてポイントが下がっています。学校では落とし物があるとクラスで呼びかけたり、落とし物コーナーに置いたりしています。低学年の児童は落とし物コーナーで現物を確認しても、自分のものかどうか分からない場合も多いようです。学校でも、自分の持ち物を大切に扱うように指導したり、忘れ物、落とし物がないよう声掛けをしたりしていきます。ご家庭におかれましても、お子様の持ち物には、必ず記名していただきますようよろしくお願いいたします。

また、「物を大切にできる」とことと「相手の気持ちを大切にできる」とことは、つながり合っているとよく言われます。設問3「相手の気持ちになって考える」項目においても、同じような結果がでています。物の向こう側に人の心を感じられるような、温かい心の育成を、今後もめざしていきます。



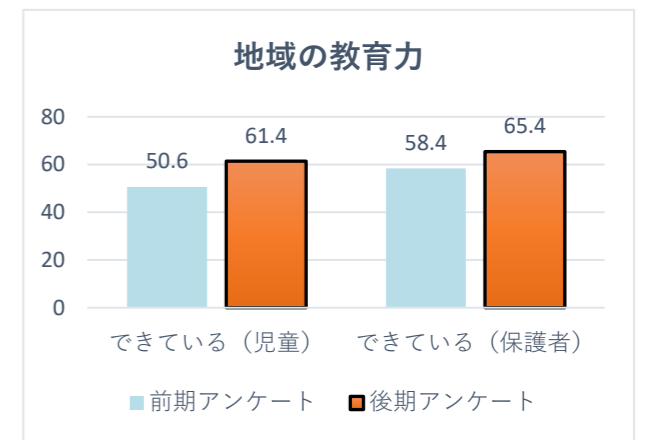
設問5. 「地域の活動に参加している」「子どもたちに対して、地域の活動に参加することの意義を声掛けしたり一緒に参加したことがある」

前期アンケートと後期アンケートを比較すると、児童が「地域の活動に参加している」の結果が、50.6%から61.4%へと10.8ポイント増加しました。これは、「ゆりのき台フェスティバル」や「ユリッキー祭」、「とんど焼き」などの地域行事が2学期以降に集中していたことが考えられます。しかし、それ以上に、子どもたちが主体的に地域行事に参加しようとする意識が芽生え、高まってきたことが大きな要因だと考えています。これからの社会は、学校・家庭・地域とのつながり



【ユリッキーまつりの様子】

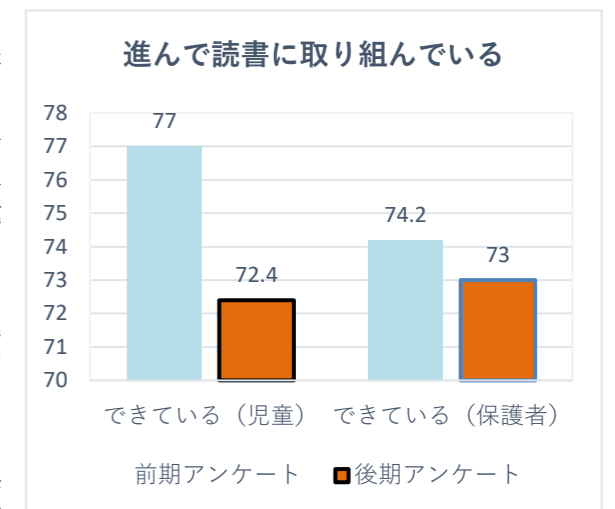
がますます求められてきます。児童は、地域社会に出て行くことによって、学校の授業だけでは学ぶことができない多くのことを経験し、成長をしていきます。学校でも、児童が主体的に地域の活動に参加するよう声かけをし、授業等と関連づけた取組を進めていきたいと思ひます。



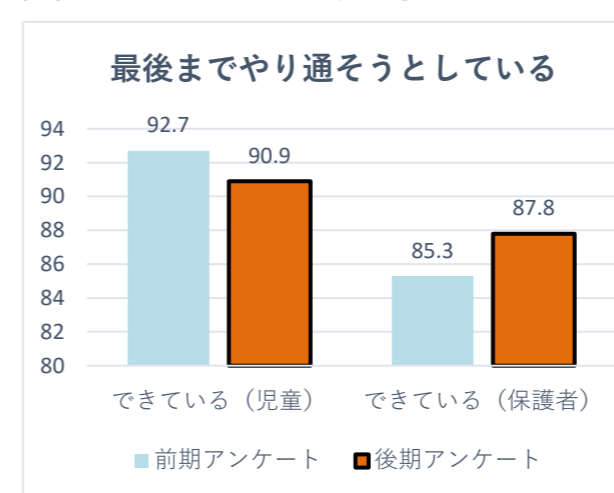
設問9. 「進んで読書に取り組んでいる」

新学習指導要領では、「言語能力の育成を図るため、各学校に必要な言語環境を整え、読書活動を充実させることが重要である」と述べられています。本校においても、数年前から、「読書環境を整えることは、子どもたちの学びを土台から支えることである」と考え、学校と家庭の読書環境をいかに整え、読書の魅力をどのように子どもたちに伝えていくのが良いのかを検討してきました。

右のグラフは、前期アンケートと後期アンケート結果を比較したものです。今回、児童、保護者ともに後期のポイントが下がっています。学校では、学校司書の配置に伴い図書室の開館時間を増やしたり、図書ボランティアの皆さんに読み聞かせをしていただいたりして、本を読むことの楽しさを伝えていきます。今回の結果を受け、学校でも朝読書や授業中の読書活動のさらなる充実をめざしていきたいと思ひます。ご家庭におかれましても、読書環境を整え、「家族読書の日」にテレビをやめて家族みんなで読書をするなど、ご協力をお願いします。



設問14. 「自分の仕事を最後までやり通そうとしている」



前期、後期のアンケート結果を比較すると、「自分の仕事をいつも最後までやり通そうとしている」の結果が保護者で2.5ポイント増加し、児童は共に高いポイントとなっています。

総合的な学習の時間や学校行事、委員会活動等を通して、自分の役割を自覚し、責任感を持って最後までやり遂げようとする気持ちが醸成されてきたのだと感じています。また、ご家庭におかれましても、多くの場面で「あきらめず、やり抜く」ようお声掛けをしていただいているからだと思ひます。これからも、様々な活動を通して、児童があきらめず、最後までやり抜くよう指導をしていきたいと思ひます。